

■2021年4月から収益認識基準の適用がスタートいたしましたが、売上速報・確報で開示する国内百貨店事業の売上高につきましては、従来の総額売上高を使用いたします。

国内百貨店事業 売上

(単位 %)

(株)三越伊勢丹	百貨店売上高		個客業扱い高*	
	前年比	累計	前年比	累計
伊勢丹新宿本店	111.5	110.2	111.5	110.2
三越日本橋本店	108.9	107.4	109.0	107.4
三越銀座店	108.3	106.3	107.9	106.2
伊勢丹立川店	100.0	100.5	101.7	101.9
伊勢丹浦和店	107.0	102.7	108.8	104.4
(株)三越伊勢丹計	109.7	108.2		

地域百貨店事業会社	百貨店売上高		個客業扱い高*	
	前年比	累計	前年比	累計
札幌丸井三越	100.1	101.6	99.8	102.9
函館丸井今井	101.7	100.5	103.8	102.3
仙台三越	112.2	107.2	112.9	107.3
新潟三越伊勢丹	103.7	101.1	104.5	101.9
静岡伊勢丹	104.5	101.8	105.1	102.3
名古屋三越	96.1	101.6	102.0	104.4
広島三越	105.7	100.6	104.9	103.2
高松三越	100.1	98.9	105.4	102.0
松山三越	90.1	90.4	108.5	102.9
岩田屋三越	109.9	107.7	111.0	108.3
地域百貨店 計	104.4	103.9		

	百貨店売上高	
	前年比	累計
国内百貨店計	108.0	106.9

*【個客業扱い高】：百貨店売上高 + 百貨店内テナント扱い高 + 拠点ネットワーク送客高

5月概況

国内顧客・海外顧客ともに好調を継続。海外顧客は4月に続き前年比2桁増。

○(株)三越伊勢丹が109.7%、国内百貨店計では108.0%と、前年を大きく上回り好調を継続している。

○国内顧客については、宝飾時計などの高額品を中心に、高感度上質消費の堅調さが既存顧客・新規顧客を問わず際立っている。加えて気温上昇に伴い本格的に夏物も稼働。5月20日に一部オープンした、19年ぶりの実施となる伊勢丹新宿本店の洋菓子リモデルも「集客」施策として新たな顧客創造に寄与している。

○海外顧客は、国内顧客と同様に高付加価値商品への関心が高いが、その度合いがやや高い傾向にある。そのため、客単価が向上して売上をけん引し、首都圏、地域とも大幅伸長した(全国計前年比117.8%)。アプリ会員の獲得や来訪元の多様化も進み、中長期での安定的な成長に向けた基盤整備が進んでいる。

6月足元概況

台風がありながらも国内顧客売上は識別顧客売上がけん引し堅調。海外顧客売上も5月に続き2桁伸長で推移し好調を維持。

○14日までの実績は(株)三越伊勢丹が110.5%、国内百貨店計では108.4%。5月の好調を継続し、首都圏・地域ともに計画を上回る伸長率。継続して好調な国内顧客売上に加え、海外顧客売上も訪日自粛や中東情勢などのマクロ環境があるなか、前年比2桁増で推移している。

○先月同様に宝飾時計領域に加え、ラグジュアリーブランドのハンドバッグや化粧品といった婦人雑貨が単価の上昇を伴って伸長。好調なファッション領域では、伊勢丹新宿本店を中心に次シーズンのアイテムにも関心が見られた。

お問い合わせ先

【広報担当】TEL: 050-1704-0684
 【IR担当】TEL: 050-1704-0688
 【個人株主の方はこちら】TEL: 0120-230-051
 木曜・日曜・大晦日・元日を除く10時～18時